令和6年度入学者向け
京都工芸繊維大学
学校推薦型選抜
学生募集要項

Kyoto Institute of Technology, **2024**

工芸科学部

応用生物学域 ―――	応用生物学課程
物質・材料科学域 ―	応用化学課程
設計工学域 ―――	電子システム工学課程 情報工学課程 機械工学課程
デザイン科学域 ――	デザイン・建築学課程

京都工芸繊維大学
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

目　次

１．募集人員 …… 1
２．試験日程 …… 2
３．出願資格 …… 3
４．出願にあたっての注意事項 …… 3
５．出願手続（インターネット出願）…… 4
⑴　出願書類 …… 4
⑵　検定料 …… 5
⑶　出願期間及び出願先 …… 5
⑷　出願状況の情報提供 …… 5
●　出願についての注意 …… 6
６．アドミッションポリシー …… 7
７．入学者選抜方法 …… 9
⑴　大学入学共通テストの利用教科・科目等 …… 9
⑵　大学入学共通テストの配点等 …… 10
８．合格者発表 …… 11
９．入学手続 …… 11
10．入学に要する諸経費 …… 11
11．取得できる資格等 …… 12
12．入学料及び授業料の免除並びに徴収猶予 …… 12
13．奨学金制度 …… 13
14．アルバイト紹介 …… 13
15．住まい …… 14
16．学部・学域・課程紹介 …… 14
17．地域創生 Tech Program について …… 15

巻末資料

■　令和６年度工芸科学部１年次学生募集人員
■　出願書類等
　志望理由書、推薦書
　※入学願書、宛名ラベル（大学送付用）の様式見本は別途掲載します。
　出願書類の提出方法
■　大学入学共通テスト受験教科・科目確認表
■　問合せ先・書類提出先

令和６年度
学校推薦型選抜学生募集要項

１．募集人員

工芸科学部

学　域	課　程	募　集　人　員	
		一般 プログラム	地域創生 Tech Program
応用生物学域	応用生物学課程	１０	１
物質･材料科学域	応用化学課程	３８	１
設計工学域	電子システム工学課程	１０	１
	情報工学課程	７	１
	機械工学課程	１５	１
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	１０	２
合　　計		９０	７

注１　選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

注２　出願書類受理後は、志望課程や志望プログラムの変更はできません。
なお、本学入学後、地域創生 Tech Program から同一課程の一般プログラムに３年次編入学することはできません。

注３　工芸科学部全体の募集人員及び募集人員の取り扱いについては、巻末「令和６年度工芸科学部１年次学生募集人員」をご確認ください。

２．試験日程

大学入学共通テスト出願期間
令和５年９月 25 日（月）～10 月５日（木）

↓

大学入学共通テスト
令和６年１月 13 日（土）、14 日（日）

↓

出願期間　（注１）
令和６年１月 17 日（水）～1 月 24 日（水）
（ただし、令和６年１月 24 日までの消印有効）

↓

合格発表
令和６年２月９日（金）

↓

入学手続期間
令和６年２月 10 日（土）～2 月 19 日（月）

（注１）学校推薦型選抜の志願者のうち、大学入学共通テストの追試験を受験することとなった者については、追試験実施後に、出願期間を別途設ける予定です。

３．出願資格

⑴　一般プログラム

次のＡからＤのすべてに該当する人に出願資格があります。

Ａ　高等学校若しくは中等教育学校を卒業した人及び令和６年３月 31 日までに卒業見込みの人

Ｂ　学校長が、学校推薦型選抜＜一般プログラム＞のアドミッションポリシーに合致し、人物及び学業に優れているとして推薦できる人

Ｃ　合格した場合に、必ず入学することを確約できる人

Ｄ　令和６年度大学入学共通テストにおいて本学が指定する教科・科目を受験した人

⑵　地域創生 Tech Program

次のＡからＤのすべてに該当する人に出願資格があります。

Ａ　出願時に、京都府下に所在地を置く高等学校若しくは中等教育学校を令和６年３月 31 日までに卒業見込みの人、又は京都府内に在住し、令和６年３月 31 日までに高等学校若しくは中等教育学校を卒業見込みの人

Ｂ　学校長が、学校推薦型選抜＜地域創生 Tech Program＞のアドミッションポリシーに合致し、人物及び学業に優れているとして推薦できる人

Ｃ　合格した場合は、必ず入学することを確約できる人

Ｄ　令和６年度大学入学共通テストにおいて本学が指定する教科・科目を受験する人

４．出願にあたっての注意事項

①　国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合を含めて）へ出願できるのは、１つの大学・学部（学科・課程・専攻・コース等）のみです。

②　＜一般プログラム＞と＜地域創生 Tech Program＞を併願することはできません。

③　学校推薦型選抜で合格となった人は、本学を含む国公立大学・学部の一般選抜を出願し、受験しても合格者となることはありません。

④　学校推薦型選抜で不合格となった人は、本学を含む国公立大学・学部の一般選抜（前期日程・後期日程）を受験することができます。ただし、合格者発表が国公立大学の一般選抜出願期間の後となるため、あらかじめ出願手続きを完了しておく必要があります。

⑤　本学のダビンチ入試（総合型選抜）を受験し、不合格となった人であっても、本学の学校推薦型選抜へ出願ができます。

⑥　大学入学共通テストにおいて、本学が指定した教科・科目を受験していないことが判明した場合、合格者となることはありません。

⑦　１つの高等学校から推薦できる人数に制限はありません。

⑧　課程ごとの注意事項

・応用化学課程、デザイン・建築学課程
　数学Ⅲを履修していることが望ましい。

・電子システム工学課程、情報工学課程、機械工学課程
　数学Ⅲを履修していること。

５．出願手続（インターネット出願）

出願期間内に、次のとおり手続きを行ってください。

本学インターネット出願システム（https://www.postanet.jp/info/010050/）にアクセスし、志願者情報を入力したのち、入力内容が正しいことを十分に確認したうえで、画面の指示に従って検定料を支払ってください。

支払い方法は、5ページ「⑵　検定料」を参照してください。なお、検定料支払が完了すると入学願書を印刷できるようになりますので、入学願書を印刷後、市販の封筒（角形2号が望ましい）に下記①、②、③、④及び該当者は⑤を一括して封入のうえ、⑥を封筒に貼付し、郵便局で**「書留・速達」**郵便の手続をする等、送達過程を記録する方法により送付してください。**直接持参しても受け付けません。インターネット出願システムに登録しただけでは出願手続は完了しません。必ず期間内に出願書類を郵送で提出してください。**

⑴　出願書類

①	入学願書（志願者が作成） インターネット出願システム（https://www.postanet.jp/info/010050/）にて所定の事項を入力し、出願者の**写真（上半身、脱帽、正面向き、無背景で出願前3か月以内に撮影したもの）**をアップロードしてください。その後、検定料の支払手続を行い、入学願書を印刷してください。 印刷した入学願書の所定の欄に**「令和6共通テスト成績請求票（[推薦] 国公立推薦選抜用）」**を貼ってください。
②	志望理由書（志願者が作成） 本学ホームページ（https://www.kit.ac.jp/test_index/school_news/type_suisen/）より様式をダウンロードし、巻末の「志望理由書作成要領」に従って、志願者自身が作成してください。
③	推薦書（高等学校で作成） 本学ホームページ（https://www.kit.ac.jp/test_index/school_news/type_suisen/）より様式をダウンロードし、巻末の「推薦書作成要領」に従って、高等学校長が作成したものを提出してください。
④	調査書（高等学校で作成） 文部科学省所定の様式（それに準ずるものも可）により高等学校長が作成、厳封したものを提出してください。 ＊卒業後5年を経過した場合は「卒業証明書」と「単位修得証明書」を、卒業後20年を経過した場合は「卒業証明書」を提出してください。 ※「数学Ⅲ」の履修状況について 調査書作成時点で、履修中であり、評定や修得単位が記載できない場合は、調査書の備考欄又は別紙自由様式にてその旨報告してください。 また、教科・科目の読み替えを行っている場合についても、調査書の備考欄又は別紙自由様式にてその旨報告してください。
⑤	授業料免除申請書類（該当する希望者のみ）　→12ページ参照 授業料免除を希望する外国人留学生（在留資格が「留学」の人及び本学入学時までに「留学」の在留資格を取得する人）のうち、次のいずれかに該当する人は、授業料免除申請書類を併せて提出してください。なお、下記以外の人は、入学手続後に申請を受け付けます。 ⅰ．私費外国人留学生 ⅱ．出願時には国費外国人留学生であるが、本学入学時に私費外国人留学生となる可能性がある人（国費外国人留学生の奨学金支給期間延長の申請をしている人又はその申請をする予定がある人も含まれます。）
⑥	宛名ラベル（大学送付用） インターネット出願システムから印刷した宛名ラベルを、願書等を本学に郵送する封筒に貼付して、使用してください。

⑵　検定料

　　１７，０００円

支払い方法はコンビニエンスストア、クレジットカード、銀行 ATM（ペイジー）より選択可能です。インターネット出願システムに表示される指示に従って、期日までに支払手続を行ってください。なお、支払いには別途手数料がかかります。

◎出願期間の概ね１年以内に、大規模な風水害等により被害を受けた人は、願い出により検定料の全額を免除することがありますので、該当すると思われる人は、検定料を支払う前のできるだけ早い時期に巻末問合せ先に申し出てください。

⑶　出願期間及び出願先

①　出願期間（インターネット出願システム入力期間及び出願書類受理期間）

令和６年１月 17 日（水）から令和６年１月 24 日（水）まで

令和６年１月 24 日（水）までの消印（日本国内）があるものについて受け付けます。

ただし、学校推薦型選抜の志願者のうち、大学入学共通テストの追試験を受験することとなった者については、追試験実施後に、出願期間を別途設ける予定です。

②　出願先

巻末書類提出先参照

⑷　出願状況の情報提供

出願期間中の出願状況については、学部入試最新情報ページ（巻末問合せ先参照）において随時公表します。

● 出願についての注意

① 次の場合は、出願書類を受理しません。

ア．インターネット出願システム上で出願処理が完了していない場合

イ．出願書類がそろっていない場合

ウ．出願書類の記載が不完全な場合

エ．検定料が支払われていない場合

② 出願書類受理後は、志望課程の変更は認めません。

③ 出願書類はいかなる理由があっても返還しません。また、支払済みの検定料は、次の場合を除き、原則、返還しません。

(a) 検定料を支払ったが、出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願書類が受理されなかった）場合

(b) 検定料を誤って二重に支払った場合

＊検定料返還請求の方法については、巻末問合せ先に連絡してください。なお、返還時の振込手数料は受取人負担となります。

④ 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後でも入学の許可を取り消すことがあります。

≪注≫

1．学校推薦型選抜合格者は国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限り、学校推薦型選抜の合格及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

2．出願書類にかかる個人情報は、出願後の連絡、受験資格の確認、入学者の選抜、統計調査、合格通知及び入学手続にのみ使用します。

3．入学者選抜における個人成績は、入学者選抜の他、成績管理・分析及び各種統計資料作成、入試結果調査、入学料・授業料免除申請者の選考及び奨学金申請者の採用推薦選考にのみ使用します。

6. アドミッションポリシー

学部	学域	課 程	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
工芸科学部	応用生物学域	応用生物学課程	バイオテクノロジーに関する高度な知識、技術、展開能力を有し、諸課題を解決し社会に還元することで、安全で幸福な持続的社会の実現に貢献するグローバルな技術者・研究者を育成します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定します。	・総合的学習能力、柔軟な発想、論理的な思考能力 ・生物、化学、英語などの基礎学力 ・生命と自然に対する深い興味、探究心と観察力
	物質・材料科学域	応用化学課程	物質・材料の成り立ちから応用までを俯瞰でき、基礎から応用までの幅広い知識（総合力）と高い専門性の素養を身に着けた、次世代の物質や材料の開発と探求ができる人材を育成します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定します。	・創造的、論理的思考能力、柔軟で独創的な発想、チャレンジ精神と行動力 ・自然科学を学ぶための化学、物理、数学、英語などの基礎学力とその応用・発展能力 ・実験科学に対する深い興味と人文科学、社会科学への幅広い関心 ・課題に向かって情熱的に取り組む意欲、化学に対する旺盛な好奇心 ・物質や材料、生体関連物質に対する好奇心、学習意欲
	設計工学域	電子システム工学課程	電子、通信、電気、計測、制御工学分野に関する知識と技術について、理論と実践の両面からバランスよく修得し、社会を支える基幹産業で活躍する人材の育成を目指します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定します。	・数学、物理や英語などの基礎学力 ・論理的思考力、ならびに修学に必要な基礎知識 ・自然現象に対する好奇心と洞察力 ・チャレンジ精神と行動力
		情報工学課程	製造・サービスなどのさまざまな産業の根幹を支えるICT分野でリーダーシップをとって活躍する人材、および、ICTを活用した先進的なシステムの開発やサービスの創出・提供によって持続可能かつ豊かな情報社会の構築に貢献する人材を育成します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定します。	・数学、物理や英語などの基礎学力 ・論理的な思考力や表現力 ・好奇心、チャレンジ精神と行動力
		機械工学課程	単に機械工学に係る個々の専門知識を習得するだけでなく、それらを統合させる能力や、科学技術の発展の方向や時代と社会の変化の動向を把握し、まだ想像されていない新しい製品やシステムを思い描き、それを具現化する行動力、さらには、自身の国籍に拘ることなく、多様性の受容と柔軟なコミュニケーションを通じた世界変化への洞察力を身に着けた機械工学に係る新価値を創造する高度専門技術者や研究者を体系化された教育プログラムを通じて育成することを目指します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定します。	・数学、物理や英語などの基礎学力 ・ものづくりが好きで、創意工夫して忍耐強く問題に取り組む力 ・自然に対する興味や好奇心、注意深い観察力 ・論理的思考力、創造力、チャレンジ精神と行動力
	デザイン科学域	デザイン・建築学課程	歴史と先端が同居する京都という地の特性を活かして、〈KYOTOデザイン〉教育、すなわち地域に根ざすと同時に国際的な競争力のある都市・建築教育を行い、建築家、建築技術者、都市プランナー、修復建築家等の高い実践力を持つ人材を育成します。また、プロダクト、ヴィジュアル、スペース等ものづくりに関わる専門的デザイン能力をベースにしていますが、一方でこうしたものづくりに留まらず、産業構造の変化等を見据え、時代に応じて変化する社会的な課題に対し、「デザイン思考」の展開によって新たなサービスの創造や社会実装化に期待が向けられてきており、そのために異分野の専門家とも積極的に協働して、デザインの知識を活かしたイノベーション（Design Driven Innovation）を実現できる人材を育成します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、出願書類と大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測り、求める能力・適性を判定します。	・緻密な論理的思考力と社会に対する洞察力、それを支えるバランスのとれた学力 ・美や造形に対する関心と感受性 ・人間や社会およびビジネスに対する関心と理解力 ・コミュニケーション能力と協調性 ・新しい可能性に向けての創造力と表現への熱意

地域創生Tech Programでは、7ページに記載する各課程のアドミッションポリシー（一般プログラム）に加えて、独自のアドミッションポリシーがあります。その内容は以下のとおりです。

募集区分等	人材育成の目標	選抜の方針・ポリシー	求める能力・適性
地域創生Tech Program	各課程の専門知識および技術をベースに、地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、グローバルな視野で新産業を興すアントレプレナー精神、特許等の知的財産に関する知識、チームで協働して課題解決に取り組めるリーダーシップ精神を有する人材の育成を目指します。	出身学校における学業成績及び出身学校による推薦によって人物及び学力の優れた者に出願資格を与え、大学入学共通テストにより幅広い基礎学力を測るとともに、出願書類に基づき、本プログラムおよび下記の各課程の求める能力・適性を判定します。	・各課程の専門を通して地域創生に貢献する意欲 ・科学技術、人間・社会・文化に対する広範な関心と、客観的な判断力、論理的説明力 ・生命と自然、人と文化への敬愛心、創造的・論理的な思考力、地域社会課題に対する洞察力 ・科学技術を学ぶための基礎学力、チャレンジ精神と行動力

７．入学者選抜方法

大学入学共通テストと提出された出願書類の内容等を総合して、合否判定を行います。入学者選抜にあたっては、7ページのアドミッションポリシーに記載の、各課程の「選抜の方針・ポリシー」に沿って、大学入学共通テストの成績及び出願書類を活用します。

⑴　大学入学共通テストの利用教科・科目等

大学入学共通テストにおいて下記の教科・科目を受験していない場合は、出願無資格者となり、合格者となることはありません。

学域、課程名		大学入学共通テストの利用教科・科目	
応用生物学域	応用生物学課程	国語 地理歴史・公民 数学 理科 外国語	国語 世界史Ａ，世界史Ｂ，日本史Ａ，日本史Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ，現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」から１ 数学Ⅰ・数学Ａ，数学Ⅱ・数学Ｂ 物理，化学，生物，地学から２科目選択 英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から１科目選択 （５教科７科目）
物質・材料科学域	応用化学課程	国語 地理歴史・公民 数学 理科 外国語	国語 世界史Ａ，世界史Ｂ，日本史Ａ，日本史Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ，現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」から１ 数学Ⅰ・数学Ａ，数学Ⅱ・数学Ｂ 物理，化学 英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から１科目選択 （５教科７科目）
設計工学域	電子システム工学課程	国語 地理歴史・公民 数学 理科 外国語	国語 世界史Ａ，世界史Ｂ，日本史Ａ，日本史Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ，現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」から１ 数学Ⅰ・数学Ａ，数学Ⅱ・数学Ｂ 物理と「化学，生物，地学から１科目選択」の計２科目 英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から１科目選択 （５教科７科目）
	情報工学課程	国語 地理歴史・公民 数学 理科 外国語	国語 世界史Ａ，世界史Ｂ，日本史Ａ，日本史Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ，現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」から１ 数学Ⅰ・数学Ａ，数学Ⅱ・数学Ｂ 物理と「化学，生物，地学から１科目選択」の計２科目 英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から１科目選択 （５教科７科目）
	機械工学課程	国語 地理歴史・公民 数学 理科 外国語	国語 世界史Ａ，世界史Ｂ，日本史Ａ，日本史Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ，現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」から１ 数学Ⅰ・数学Ａ，数学Ⅱ・数学Ｂ 物理と「化学，生物，地学から１科目選択」の計２科目 英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から１科目選択 （５教科７科目）
デザイン科学域	デザイン・建築学課程	国語 地理歴史・公民 数学 理科 外国語	国語 世界史Ａ，世界史Ｂ，日本史Ａ，日本史Ｂ，地理Ａ，地理Ｂ，現代社会，倫理，政治・経済，「倫理，政治・経済」から１ 数学Ⅰ・数学Ａ，数学Ⅱ・数学Ｂ 物理，化学，生物，地学から２科目選択 英語，ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語から１科目選択 （５教科７科目）

注意事項

〇大学入学共通テストについて

１．段階表示について

出願資格及び合否判定に段階表示を活用しません。

２．外国語について

英語を選択した場合には、全ての課程でリーディングテストとリスニングテストを課します。リーディングの得点を１６０点満点、リスニングの得点を４０点満点にそれぞれ換算の上合計し、各課程の配点に換算します。なお、リスニングテストを受験しなかった場合でも失格にはなりませんが、その場合、リスニングテストの点数を０点とします。また、リスニング免除者については、リーディングの得点を２００点満点に換算の上、各課程の配点に換算します。

３．そ の 他

大学入学共通テストの「地理歴史・公民」から１科目選択の場合において、各課程が必要とする教科・科目を超えて受験した場合は、各課程が指定した教科・科目のうち第１解答科目の得点を採用します。

〇英語民間試験について

出願資格及び合否判定に英語民間試験を活用しません。

⑵　大学入学共通テストの配点等

＜一般プログラム＞

課程名	大学入学共通テスト						出願書類
	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	計	
応用生物学課程	200	100	２科目 各100	２科目 各100	200	900	合否判定 に活用
応用化学課程	200	100	２科目 各100	２科目 各100	200	900	
電子システム工学課程	100	50	２科目 各100	物理200 その他100	200	850	
情報工学課程	200	100	２科目 各100	２科目 各100	200	900	
機械工学課程	200	100	２科目 各100	２科目 各100	200	900	
デザイン・建築学課程	200	100	２科目 各100	２科目 各100	200	900	

＜地域創生Tech Program＞

課程名	大学入学共通テスト						出願書類
	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	計	
応用生物学課程	200	100	２科目 各100	２科目 各100	200	900	合否判定 に活用
応用化学課程	200	100	２科目 各100	２科目 各100	200	900	
電子システム工学課程	100	50	２科目 各100	物理150 その他100	200	800	
情報工学課程	100	50	２科目 各100	２科目 各100	200	750	
機械工学課程	100	50	２科目 各100	２科目 各100	200	750	
デザイン・建築学課程	200	100	２科目 各100	２科目 各100	200	900	

８．合格者発表

令和６年２月９日（金）17 時（予定）に合格者の受験番号を**本学ホームページ**（巻末問合せ先参照）に掲載します。なお、合格者には合格通知書を郵送します。また、個別の試験結果の照会には応じられません。

９．入学手続

⑴　合格者は、次の日時に入学手続を行ってください。なお、入学手続に必要な書類については、合格通知書に同封します。

令和６年２月 10 日（土）から令和６年２月 19 日（月）（17 時必着）まで

⑵　原則として、学校推薦型選抜の合格者は入学を辞退することは認められません。ただし、特別の事情によりやむを得ず入学を辞退する場合は、あらかじめ入試課学部入試係に連絡（巻末問合せ先参照）の上、高等学校長が作成する「推薦入学辞退願」（様式は任意。必ず辞退する理由を記載すること）を、令和６年２月 19 日（月）（17 時必着）までに本学学長宛に作成し、巻末書類提出先に提出してください。

⑶　学校推薦型選抜の合格者は、令和６年２月 19 日（月）までに「推薦入学辞退願」が受理され、入学の辞退が許可された場合を除き、本学及び他の国公立大学・学部の一般選抜を受験しても合格者となりません。

10．入学に要する諸経費

⑴　入学料及び授業料

①　入　学　料

282,000 円

②　授　業　料

267,900 円（半期）　535,800 円（年額）

※　１．入学料及び授業料の額については、改定される場合があります。
　　２．入学料の納入は、入学手続時に行います。入学時に入学料及び授業料が改定された場合は、改定後の入学料及び授業料の額が適用されます。なお、在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料の額が適用されます。
　　３．授業料の納入は、年間の授業料について、前期及び後期の２期に区分して行います。納入月は、前期は４月、後期は 10 月で、それぞれの期において納入する額は、年額の２分の１に相当する額です。
　　４．納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

⑵　学生教育研究災害傷害保険料及び付帯賠償責任保険料

４年間の保険料　　4,660 円（予定）

※　１．その他、必要に応じて納入する諸経費があります。
　　２．納入方法等の詳細については、合格通知に同封します。
　　３．令和６年３月 31 日（日）17 時までに入学を辞退した場合、入学料以外は返還します。
　　返還の方法については、巻末問合せ先に連絡してください。

11. 取得できる資格等

本学が特に定める教育課程を履修することによって取得することのできる資格等は、本学ホームページをご確認ください。なお、地域創生 Tech Program の学生については、資格等によっては、上位年次に配当されている科目を 3 年次前学期までに履修すること、3 年次後学期以降も松ヶ崎キャンパスで開講される科目を受講することが必要な場合があります。

◇本学ホームページ（トップページ ＞ 学生生活 ＞ 学修関係 ＞ 取得できる資格）
URL：https://www.kit.ac.jp/campus_index/lesson_schedule/capacity/

12. 入学料及び授業料の免除並びに徴収猶予

⑴ 入学料免除

「高等教育の修学支援新制度」（「授業料等減免」と「給付型奨学金」）の対象となる人は、申請に基づき選考の上、入学料の全額又は一部が免除される制度があります。
「高等教育の修学支援新制度」の対象とならない人に対する入学料免除制度はありません。（外国人留学生を除く）

外国人留学生は、令和 5 年 4 月以降に学資負担者が死亡し、又は入学する本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたこと等により、入学料の納入が著しく困難であると認められる場合は、願い出により選考のうえ、入学料の全額又は一部が免除される制度があります。
入学手続時に申請を受け付けます。

⑵ 授業料免除

「高等教育の修学支援新制度」（「授業料等減免」と「給付型奨学金」）の対象となる人は、申請に基づき選考の上、授業料の全額又は一部が免除される制度があります。
「高等教育の修学支援新制度」の対象とならない人に対する授業料免除制度はありません。（外国人留学生を除く）

外国人留学生は、経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる人は、学期ごとの願い出により選考のうえ、授業料の全額又は一部が免除される制度があります。
なお、令和 6 年度前期分授業料免除の申請方法は、在留資格によって次のとおり異なります。

● 令和 6 年度前期分の授業料免除の申請方法（外国人留学生）

Ⅰ. 在留資格が「留学」の人及び入学時までに「留学」の在留資格を取得する人のうち、次のいずれかに該当する人

ⅰ. 私費外国人留学生
ⅱ. 出願時には国費外国人留学生であるが、入学時に私費外国人留学生となる可能性がある人（国費外国人留学生の奨学金支給期間延長の申請をしている人又はその申請をする予定がある人も含まれます。）

入学試験出願時に申請を受け付けます。出願期間後の申請は受け付けません。
申請書類は、本学ホームページ
（https://www.kit.ac.jp/en/prospective_student/life_fee/）よりダウンロードしてください。
免除選考結果通知書は、入学試験の合格通知書と併せて送付します。
なお、授業料免除の申請が入試の合否判定に関係することは一切ありません。

Ⅱ．上記Ⅰ以外の在留資格の人

入学手続後に申請を受け付けます。

申請方法は、最終選考の合格通知書に同封する入学手続書類で確認してください。

⑶ 入学料徴収猶予・授業料徴収猶予

経済的理由により納入期限までに入学料・授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる人は、願い出により選考のうえ、徴収が猶予される制度があります。

⑷ 京都工芸繊維大学特待生制度

本学独自の制度として、各年次における学業成績が特に優秀な学生に対し、2、3、4年次において授業料の半期分を全額免除する特待生制度があります。

13. 奨学金制度

⑴ 日本学生支援機構奨学金

学業・人物ともに優秀で経済的理由のため修学困難と認められる場合は、願い出により選考のうえ、奨学金の貸与又は給付を受けることができます。

⑵ その他の奨学金

地方公共団体及び民間育英団体による奨学金制度があります。採用数は限られますが願い出により選考のうえ、奨学金の貸与又は給付を受けることができます。

また、地域創生 Tech Program では、卒業後に京都府北部の地元企業への就職を希望する人を対象とする奨学金も予定されています。

14. アルバイト紹介

本学では、アルバイトを行う必要のある学生の皆さんに、入学後、京都工芸繊維大学アルバイト紹介システムによりアルバイトを紹介しています。パソコンや携帯電話からアルバイト求人情報を閲覧できます。

◇本学ホームページ（トップページ ＞ 学生生活 ＞ 生活支援 ＞ アルバイトの紹介）

URL：https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/work/

15. 住まい

⑴ 松ヶ崎学生館

松ヶ崎学生館は、本学学生及び提携大学の留学生等の居住用施設として、松ヶ崎キャンパス西隣に設置された学生向け住居です。松ヶ崎学生館は、本学協力のもと、株式会社ジェイ・エス・ビーにより管理・運営されています。

同館への入居をご希望の方は、同社関連の UniLife 松ヶ崎北山通店（以下参照）までお問い合わせください。なお、同店舗では松ヶ崎学生館以外の住まいも取り扱っています。

◇本学ホームページ（トップページ ＞ 学生生活 ＞ 生活支援 ＞ 住まい）
URL：https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/house/

◇松ヶ崎学生館（Unilife ホームページ内）：https://unilife.co.jp/view/10846/

◇UniLife 松ヶ崎北山通店（フリーダイヤル 0120-998-521）
店舗 URL：https://unilife.co.jp/store/292/

⑵ その他の住まい

ワンルームマンション、アパート等の物件に関する情報は、株式会社学生情報センター京都今出川店（本学業務委託業者）にお問い合わせください。

◇本学ホームページ（トップページ ＞ 学生生活 ＞ 生活支援 ＞ 住まい）
URL：https://www.kit.ac.jp/campus_index/life_fee/house/

◇株式会社学生情報センター京都今出川店（フリーダイヤル 0120-356-546）
店舗 URL：https://749.jp/store/imadegawa/

16. 学部・学域・課程紹介

本学では、学部・学科制にとらわれないプログラム中心の教育運営を行うために、学域、課程を設置しています。

工芸科学部及び各学域、課程の内容は本学ホームページをご確認ください。

◇本学ホームページ（トップページ ＞ 学部・大学院・センター ＞ 工芸科学部）
URL：https://www.kit.ac.jp/edu_index/school-science-and-technology-color/

17. 地域創生 Tech Program について

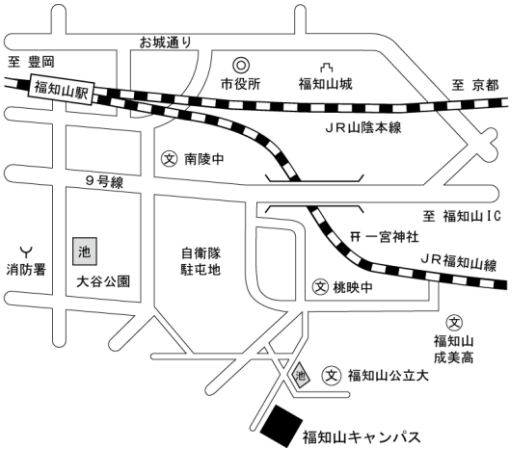
地域創生 Tech Program は、地域産業の活性化や地域課題の解決に向けて、各課程の専門知識及び技術をベースに、グローバルな視野で協働することができる人材を育成することを目的として開設された学位プログラムです。

本プログラムの学生は、一般プログラムの学生と同様に各課程のいずれかに所属し、1 年次から 3 年次前学期まで京都市の松ヶ崎キャンパスで開講される授業科目を履修して専門知識及び技術を身に付けます。

3 年次後学期には京都府北部の福知山キャンパスを中心として、地域課題解決型学習（PBL, Project Based Learning）やインターンシップといった実践的・能動的な学習に取り組みます。

本プログラムの卒業生は、各課程の専門力に加え、新産業を興すアントレプレナー精神、特許等の知的財産に関する知識及びチームで協働して課題解決に取り組めるリーダーシップ精神を有する人材として活躍することが期待されます。

福知山キャンパスの地図は以下のとおりです。福知山キャンパスと松ヶ崎キャンパスの距離は約 100km で、両キャンパスの移動は鉄道（特急利用）で片道約 2 時間を要します。



※単位の修得状況によっては、福知山キャンパスで学ぶ時期が 3 年次後学期より後になる場合があります。

※地域創生 Tech Program 以外の一般プログラムの学生は、入学から卒業まで松ヶ崎キャンパスで学びます。

※入学後は地域創生 Tech Program から同一課程の一般プログラムに 3 年次編入学することはできません。

令和６年度工芸科学部１年次学生募集人員

<table>
<tr><th rowspan="3">課程</th><th rowspan="3">合計</th><th colspan="7">一般プログラム</th><th colspan="6">地域創生Tech Program</th></tr>
<tr><th rowspan="2">小計</th><th colspan="2">一般選抜</th><th colspan="2">ダビンチ入試
（総合型選抜）</th><th rowspan="2">学校
推薦型
選抜</th><th rowspan="2">特別
入試</th><th rowspan="2">小計</th><th rowspan="2">一般
選抜</th><th colspan="3">ダビンチ入試
（総合型選抜）</th><th rowspan="2">学校
推薦型
選抜</th></tr>
<tr><th>前期
日程</th><th>後期
日程</th><th>一般</th><th>グロー
バル</th><th>私費
外国人
留学生</th><th>前期
日程</th><th>一般</th><th>地域</th><th>社会人</th></tr>
<tr><td>応用生物学課程</td><td>50</td><td>48</td><td>22</td><td>10</td><td>5</td><td>1</td><td>10</td><td>若干名</td><td>2</td><td>若干名</td><td colspan="2">1</td><td>若干名</td><td>1</td></tr>
<tr><td>応用化学課程</td><td>169</td><td>166</td><td>95</td><td>24</td><td>6</td><td>3</td><td>38</td><td>若干名</td><td>3</td><td>若干名</td><td colspan="2">2</td><td>若干名</td><td>1</td></tr>
<tr><td>電子システム工学課程</td><td>61</td><td>58</td><td>34</td><td>10</td><td>3</td><td>1</td><td>10</td><td>若干名</td><td>3</td><td>若干名</td><td colspan="2">2</td><td>若干名</td><td>1</td></tr>
<tr><td>情報工学課程</td><td>61</td><td>58</td><td>30</td><td>15</td><td>5</td><td>1</td><td>7</td><td>若干名</td><td>3</td><td>若干名</td><td colspan="2">2</td><td>若干名</td><td>1</td></tr>
<tr><td>機械工学課程</td><td>86</td><td>83</td><td>48</td><td>15</td><td>4</td><td>1</td><td>15</td><td>若干名</td><td>3</td><td>若干名</td><td colspan="2">2</td><td>若干名</td><td>1</td></tr>
<tr><td>デザイン・建築学課程</td><td>156</td><td>148</td><td>105</td><td>－</td><td>30</td><td>3</td><td>10</td><td>若干名</td><td>8</td><td>若干名</td><td>4</td><td>2</td><td>若干名</td><td>2</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>583</td><td>561</td><td>334</td><td>74</td><td>53</td><td>10</td><td>90</td><td>－</td><td>22</td><td>－</td><td colspan="3">合わせて15</td><td>7</td></tr>
</table>

注１．一般選抜前期日程では、第１志望で地域創生 Tech Program を選択した志願者は、同一課程に限り、第２志望に一般プログラムを選択することが可能です。

注２．募集人員の取り扱いは次のとおりとします。

①一般プログラムのダビンチ入試（総合型選抜）の入学手続者数が募集人員に満たない場合は、その欠員を一般プログラムの一般選抜前期日程に加えます。

②私費外国人留学生の募集人員（若干名）は、一般選抜前期日程の募集人員に含まれます。

③地域創生 Tech Program のダビンチ入試（総合型選抜）では、デザイン・建築学課程を除き、一般と地域合わせて募集します。また、社会人の募集人員（若干名）は、地域創生 Tech Program の各課程の募集人員に含まれます。

④地域創生 Tech Program のダビンチ入試（総合型選抜）のデザイン・建築学課程で募集する一般（又は地域）の合格者数が募集人員に満たない場合は、その欠員を地域（又は一般）に加えます。

⑤地域創生 Tech Program のダビンチ入試（総合型選抜）の入学手続者数が募集人員に満たない場合、その欠員は地域創生 Tech Program の学校推薦型選抜に含めます。
さらに、地域創生 Tech Program の学校推薦型選抜の入学手続者数が募集人員に満たない場合、その欠員は地域創生 Tech Program の一般選抜前期日程の募集人員（若干名）に含めます。

⑥地域創生 Tech Program の入学手続者数（一般選抜（前期日程）においては合格者数）が募集人員に満たない場合は、その欠員を一般プログラムの一般選抜前期日程に加えます。

注３．ダビンチ入試（総合型選抜）で不合格となった人は、本学を含む国公立大学・学部の学校推薦型選抜及び一般選抜に出願ができます。

注４．学校推薦型選抜の合格発表前に、本学を含む国公立大学・学部の一般選抜に出願できますが、学校推薦型選抜に合格した場合には、一般選抜を受験しても合格対象者になりません。

出願書類等

・志望理由書

・推薦書

・入学願書見本

・宛名ラベル（大学送付用）見本

別途掲載します。

・出願書類の提出方法

学校推薦型選抜　志望理由書作成要領（志願者が作成）

・志願者自身が作成してください。
・Microsoft Word 等文書作成ソフトウェア又は手書きで作成してください。
・手書きする場合は、黒のボールペンを使用し、横書きで記入してください。欄外には記入しないでください。誤って記入した場合は、該当箇所に二重線を引き、その上に正しい文字を記入してください。訂正印は不要です。
・文書作成ソフトウェアを用いて作成する場合、フォントは明朝体又はゴシック体を使用し、１２ポイント以上の文字サイズ、黒字（赤字等黒以外のフォントの色は使用不可）で作成してください。
・Ａ４縦長で２ページに収まるように作成してください。
・枠内に罫線を引いても構いません。
・図や表は使用しないでください。
・必要に応じて、太字・斜体・下線を使用してもかまいません。
・「受験番号」、「志願者氏名」、「志望課程」欄には、入学願書と同一の内容を記入してください。
・このページ（志望理由書作成要領）は、提出する必要はありません。
・片面、白黒印刷してください。１ページ目と２ページ目のホッチキス留めは不要です。

受験番号						

京都工芸繊維大学　学校推薦型選抜　志望理由書

志願者氏名	
志望課程	課程

あなたが、出願した課程を志望する理由を以下の項目に応じて、要点を絞って箇条書きに記述しなさい。

１．京都工芸繊維大学を志望する理由を書いてください。
（１００字程度）

２．出願した課程を志望する理由を書いてください。
（２００字程度）

受験番号						

３．大学入学後、何をどのように学びたいか、その内容を書いてください。
※地域創生 Tech Program の志望者は地域創生という観点を踏まえて書いてください。
（１００字程度）

４．大学での学びを活かして、将来どのように社会に貢献したいか、その内容を書いてください。
※地域創生 Tech Program の志望者は地域創生という観点を踏まえて書いてください。
（１００字程度）

学校推薦型選抜　推薦書作成要領（高等学校において作成）

・Microsoft Word 等文書作成ソフトウェア又は手書きで作成してください。
・手書きする場合は、黒のボールペンを使用し、横書きで記入してください。欄外には記入しないでください。誤って記入した場合は、再作成してください。修正液の使用や二線抹消はお控えください。
・文書作成ソフトウェアを用いて作成する場合、フォントは明朝体又はゴシック体を使用し、黒字（赤字等黒以外のフォントの色は使用不可）で作成してください。
・Ａ４縦長で２ページに収まるように作成してください。
・罫線を引いても構いません。
・「志願者氏名」、「卒業年月」、「住所」欄は、誤りのないよう記入してください。
・「受験番号」欄は記入不要です。
・学校長の職印と記載責任者（学級担任等）の私印を押印してください。
・このページ（推薦書作成要領）は、提出する必要はありません。
・片面、白黒印刷してください。
・１枚目と２枚目にわたり、割印を押印する必要はありません。
　３．で添付する資料（表彰状、資格取得証明書や発表資料等）がある場合には、その写しを提出してください。なお、提出された資料は返却できません。また、Ａ４サイズに収まるものに限ります。

「学力の３要素」について

文部科学省通知「大学入学者選抜実施要項」に記載の学力を構成する以下の３つの要素を指します。

①基礎的・基本的な知識・技能（「知識・技能」）
②知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力（「思考力・判断力・表現力等」）
③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度

受験番号						

京都工芸繊維大学　学校推薦型選抜　推薦書

志願者氏名	
卒業年月	年　　月　　卒業　・　卒業見込
住　　所	

１．上記の生徒を推薦する理由を、次のＡ～Ｄより選び、（　）内に＜※１つのみ＞記入してください。

上記の生徒は、以下のＡ～Ｄのうち、（　　）に該当する。

Ａ：貴学のオープンキャンパス等に参加して、貴学での学習・研究に惹かれ、貴学への入学を非常に強く希望しており、推薦します。
Ｂ：貴学のホームページ等で、貴学での学習・研究に触れる機会があり、貴学への入学を強く希望しており、推薦します。
Ｃ：貴学での学習・研究を非常に強く希望しており推薦します。
Ｄ：上記以外（該当事由をご記入ください。）
（　　）

※上記がＡ及びＢである場合、本学のどの学習・研究に、どのように惹かれたかを明記してください。

受験番号						

２．学力の三要素の項目について、上記生徒の評価を選択肢Ａ～Ｄより選び、（　）内に記入してください。

＜選択肢＞

Ａ：非常に際立っている　　Ｂ：際立っている　　Ｃ：普通　　Ｄ：やや劣っている

（　　）①　基礎的な知識・技能

（　　）②　思考力・判断力・表現力等の能力

（　　）③　主体性・多様性・協働性

３．調査書の記述以外で参考事項（教育活動、課外活動等）の資料があれば、記入または添付してください。

令和　　年　　月　　日

京都工芸繊維大学長　殿

上記のとおり、責任をもって推薦します。

学校等名

校長名　　印

記載責任者　職名

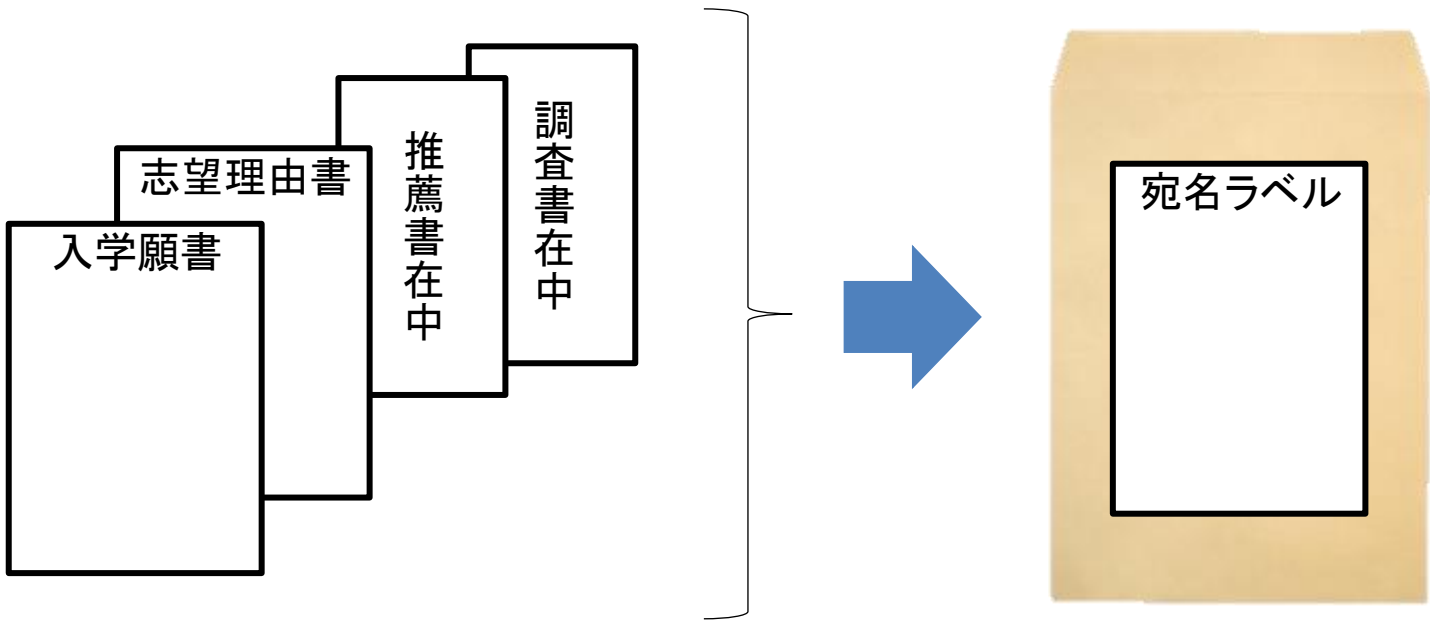
氏名　　印

出願書類の提出方法（一般プログラム・地域創生Tech Program共通）

1. 願書等必要書類（4ページ参照）を準備してください。

2. インターネット出願システムから印刷した「宛名ラベル」を封筒に貼付してください。

3. 願書等必要書類を封筒に入れ、出願期間内に郵送してください。



※高等学校が取りまとめて郵送する必要はありません。

※地域創生Tech Programは前年度までと提出方法が異なりますので、注意してください。

■大学入学共通テスト受験教科・科目確認表

志望する課程が課す教科・科目を受験しているか確認欄でチェックしてください。
本学が指定した教科・科目を1つでも受験していない場合は、出願無資格者となり、合格者となることはありませんので、十分注意してください。（この表は大学へ提出する必要はありません。）

なお、教科・科目の詳細については、9ページ「⑴　大学入学共通テストの利用教科・科目等」を参照してください。

学部・学域・課程 ＼ 教科・科目名等			大学入学共通テストの受験を要する教科・科目		確認
			教　科	科　目	
工芸科学部	応用生物学域	応用生物学課程	国語	「国語」	
			地理歴史・公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫」、「政経」、「倫、政経」から1	
			数学①	「数Ⅰ・数A」	
			数学②	「数Ⅱ・数B」	
			理科②	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2	
			外国語	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1	
	物質・材料科学域	応用化学課程	国語	「国語」	
			地理歴史・公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫」、「政経」、「倫、政経」から1	
			数学①	「数Ⅰ・数A」	
			数学②	「数Ⅱ・数B」	
			理科②	「物理」	
				「化学」	
			外国語	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1	
	設計工学域	電子システム工学課程	国語	「国語」	
			地理歴史・公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫」、「政経」、「倫、政経」から1	
			数学①	「数Ⅰ・数A」	
			数学②	「数Ⅱ・数B」	
			理科②	「物理」	
				「化学」、「生物」、「地学」から１	
			外国語	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1	
		情報工学課程	国語	「国語」	
			地理歴史・公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫」、「政経」、「倫、政経」から1	
			数学①	「数Ⅰ・数A」	
			数学②	「数Ⅱ・数B」	
			理科②	「物理」	
				「化学」、「生物」、「地学」から１	
			外国語	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1	
		機械工学課程	国語	「国語」	
			地理歴史・公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫」、「政経」、「倫、政経」から1	
			数学①	「数Ⅰ・数A」	
			数学②	「数Ⅱ・数B」	
			理科②	「物理」	
				「化学」、「生物」、「地学」から１	
			外国語	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1	
	デザイン科学域	デザイン・建築学課程	国語	「国語」	
			地理歴史・公民	「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」、「現社」、「倫」、「政経」、「倫、政経」から1	
			数学①	「数Ⅰ・数A」	
			数学②	「数Ⅱ・数B」	
			理科②	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2	
			外国語	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1	

問合せ先・書類提出先

京都工芸繊維大学　入試課学部入試係
〒606-8585　京都市左京区松ヶ崎橋上町１番地
TEL: 075-724-7164
FAX: 075-724-7160
e-mail: nyushi@kit.ac.jp
大学ホームページ: https://www.kit.ac.jp
学部入試最新情報ページ: https://ac.web.kit.ac.jp/02/school_news.php

発行年月　令和５年７月

© 2023 Kyoto Institute of Technology